

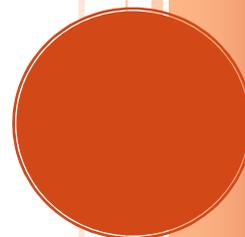
令和7年度 学校評価 集計結果

【自己評価・学校関係者評価】

学校評価は、教育活動の成果を検証し、学校運営の改善を目指すための取り組みです。学校評価の結果に基づいて、必要な支援や改善措置を講じることで一定水準の教育の質を保証し、その向上を図ります。

沖縄県立 泡瀬特別支援学校

2026/02/09



令和7年度 学校評価 集計結果

【自己評価・学校関係者評価】

【目次】

1. 教職員

(1) 集計 1

(2) 結果と考察 7

2. 事務・現業

(1) 集計 8

(2) 結果と考察 10

3. 児童生徒

(1) 集計 11

(2) 結果と考察 13

4. 保護者

(1) 集計 14

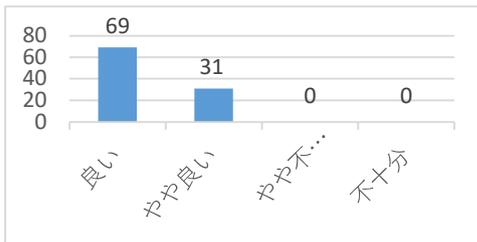
(2) 結果と考察 16

5. 学校評議委員

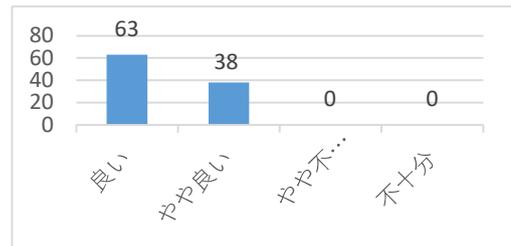
(1) 集計 18

(2) 結果と考察 18

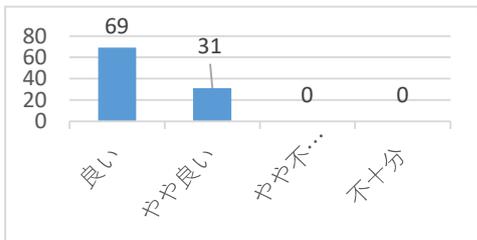
1【学校教育目標について】



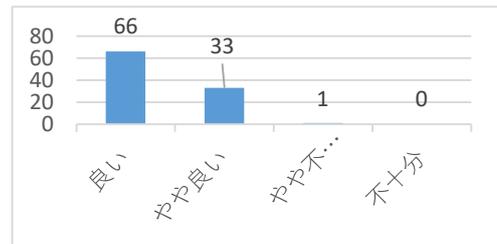
2【教育課程について】



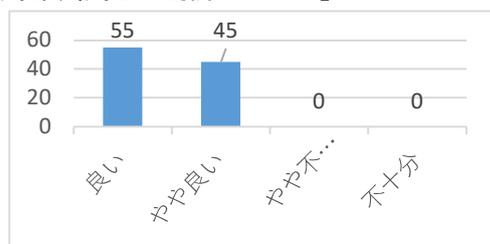
3【個別の教育支援計画について】



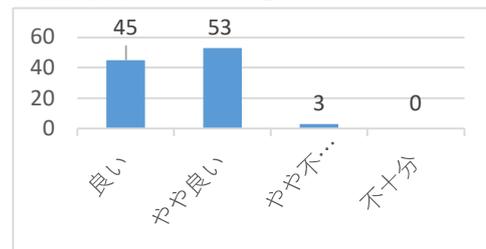
4【家庭との連携について】



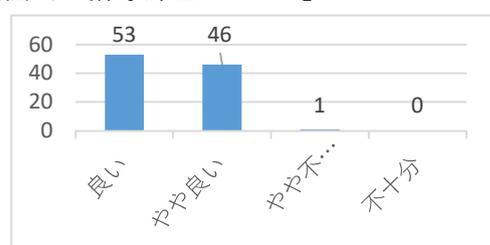
5【関係機関との連携について】



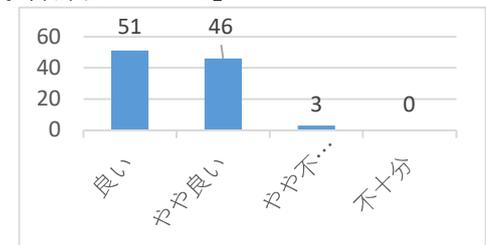
6【年間指導計画について】



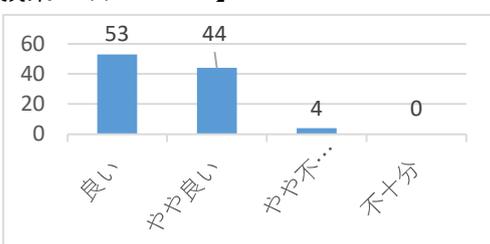
7【個別の指導計画について】



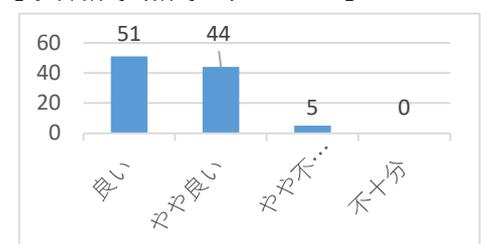
8【学習評価について】



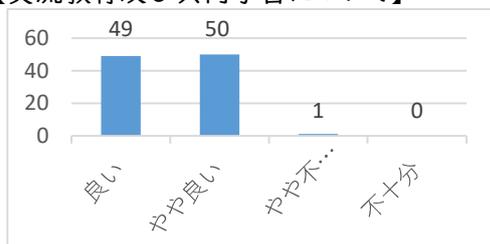
9【授業づくりについて】



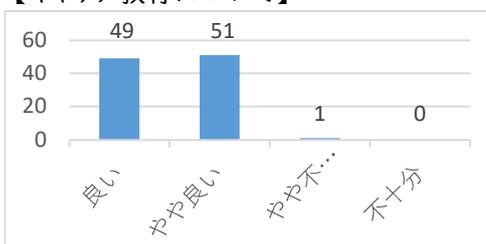
10【学習指導(指導力)について】



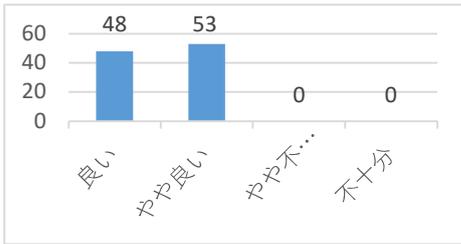
11【交流教育及び共同学習について】



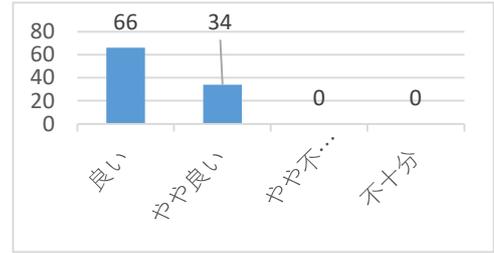
12【キャリア教育について】



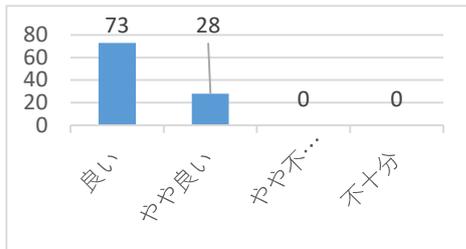
13【生徒指導及び人権教育について】



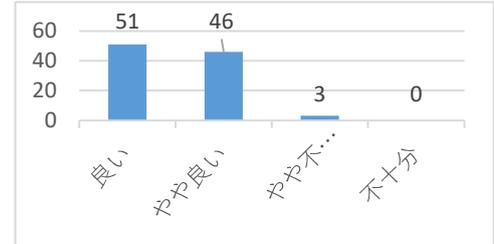
14【就学支援及び教育相談について】



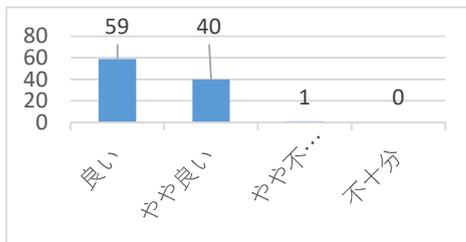
15【校内研修について】



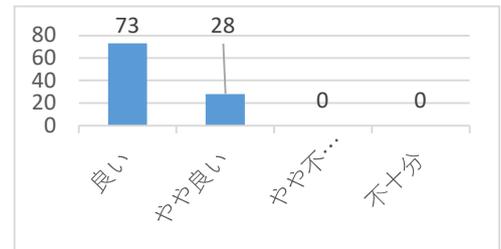
16【自立活動について】



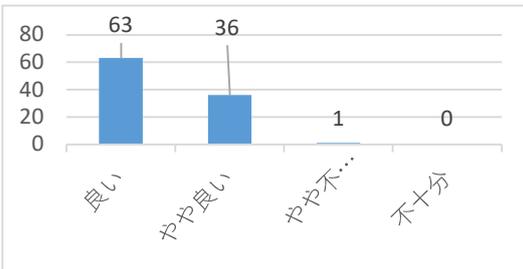
17【校務分掌について】



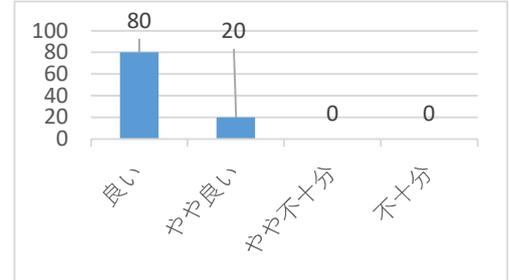
18【職員会議等について】



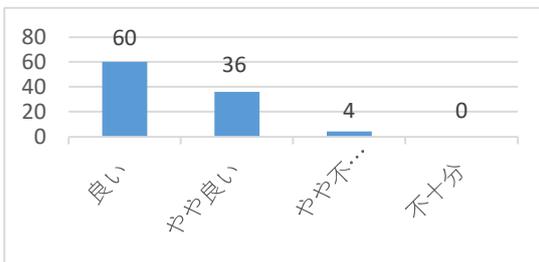
19【緊急・救急体制について】



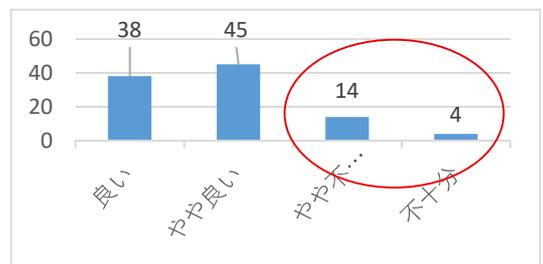
20【健康・安全・給食について】



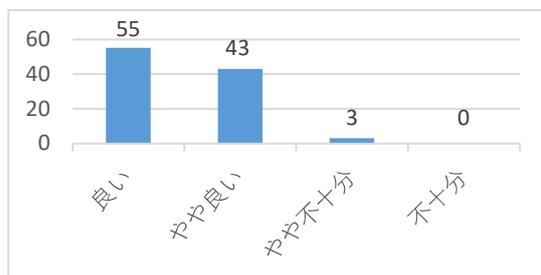
21【教育環境について】



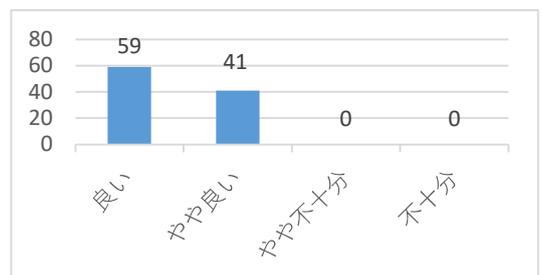
22【施設・設備について】



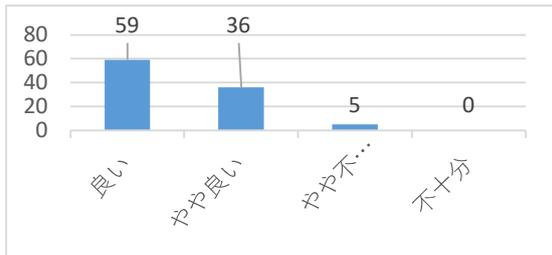
23【PTO活動について】



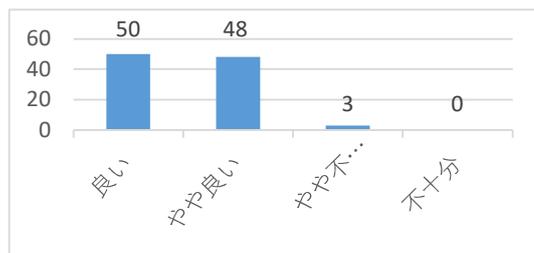
24【外部への情報発信について】



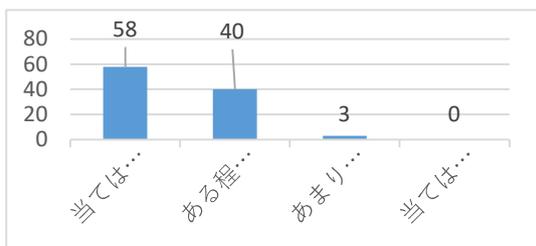
25【職場環境について】



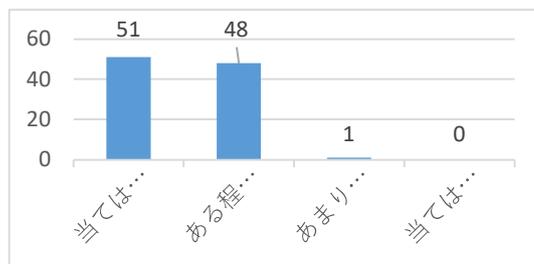
26【働き方改革について】



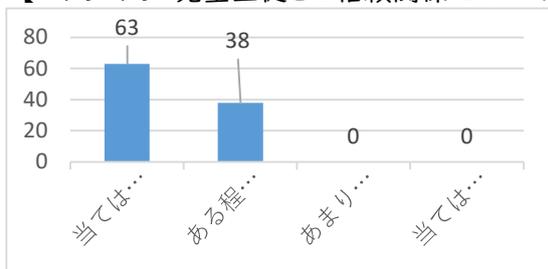
27【同僚・管理者との良好な人間関係について】



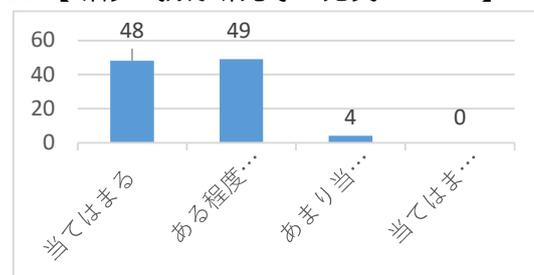
28【個人の裁量(ゆとり)ある時間について】



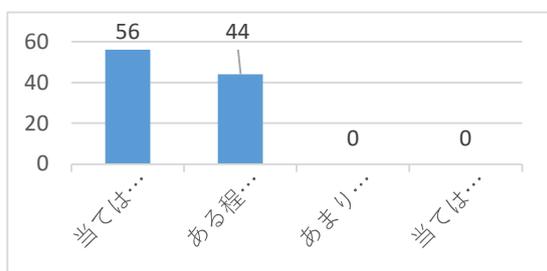
29【一人一人の児童生徒との信頼関係について】



30【研修や教材研究等の充実について】



31【心身の健康の確保と安全・快適な職場環境の形成について】



32 自由記述

- (1) とても働きやすく良い環境の職場だと思います。みなさんにいつも感謝しています。
- (2) 学校の雰囲気が良くなっている。
- (3) 教育課程編成から計画的に下校日の変更を調整したり、弾力的に運用できている部分は良いので、継続して改善策を模索して欲しい。
- (4) 教育課程の共通確認へもう少し時間をか工夫工夫がると良いと感じた。
- (5) 高等部のスロープや療育センターとの避難通路について設置に向けて検討が必要かと思われる。
- (6) 学校全体の運営に関わる皆さま、いつもありがとうございます！

【課題、要望、改善策】

4. 家庭との連携について

(1) 来校の機会がほとんどなく、連絡もつきにくい保護者との連携が難しい。

⇒ 教育活動を行うに当たって家庭との連携は非常に大切です。様々なツールを活用し、学校全体で課題意識を持って取り組みます。

6. 年間指導計画について

(1) 生単の学習内容や計画、取り組み方法等を見直す必要があると思う。毎回、単発の内容(行事ありき、制作ありきなど)で何を目標としているのかが見えてこない。年間通して大きな枠組みで捉え、連続性や系統性をもたせた方が目標もはっきりとし、学習効果も上がるのではないかと思う。

(2) 学年が上がっていく中での系統性。学部間も同様に。

⇒ 単元や題材等の情報共有として、「システム」や「個別の指導計画」及びサーバーの資料などの活用も検討してください。

7. 個別の指導計画について

(1) 特に重度重複の生徒は、繰り返しの学習で身につくことが多いと思うが、その中で、少しでもできるようになったことを引き継いで、次の段階へと学習活動を進めているかというところは不明である。「やや不十分」というより「わからない」

⇒ 児童生徒の実態及び修得事項の丁寧な引き継ぎが必要かと思われます。

8. 学習評価について

(1) 学習評価の在り方として、評価規準の共通理解が必要と考えるが、話し合う時間が十分確保できないこともあり、理解度に個人差が見られる。一学期から夏季休業期間までの間に、共通理解し授業計画、教材準備から評価規準を意識できると、評価の客観性(確かな学び)が引き継げると思います。

(2) 各教科を各担当に割り振って実施しているが、学習内容から個々の課題に応じた評価が担当主体となり、評価をもう少し共有し合う工夫が必要と感じた。

⇒ 評価(規準・基準)の考え方については認識を揃えておく必要があります。研修や話し合いの機会を有効活用しながら共通理解が図れるよう進めていきましょう。(初任研の授業研究会等では細かく確認を行いますよ。参加してみても!)

9. 授業づくりについて

(1) 生徒の興味の引き出し方

(2) できているところも多いが、まだ不十分なところをどう引き上げていくか?お互いの授業を見合うなどの工夫があると良いと思います。

(3) 児童の実態などについて、話し合ったり、一緒に授業準備をする時間が不足している。

⇒ 話し合いの場がもっと必要だとの意見だと思っています。既存の会議(教科会・授業担当者会)の有効活用を考えましょう。

10. 学習指導(指導力)について

(1) 生単に関しては、見直しが必要だと思う。

(2) 沢山経験を積んで観察力をつける

(3) 活動するために生徒の実態にそった教具作りが自身の中で上手く作れず試行錯誤しているから。

⇒ 児童生徒の実態を丁寧に把握することで見えてくる課題があると思います。生単に関しても、教材づくりに関しても、その課題を解決するために有効な手段かを考えていくと分かり易くなると思います。

11. 交流教育及び共同学習について

(1) 担当の係の先生の動きや対応が遅く、当日の進行や流れも含め、部主事に負担が来ているように思います。

⇒ 有意義な交流を実施するためには、各校の交流の目的や交流校教諭とのお互いの目標設定の確認などを丁寧に行うことが大切になってくると思います。学部全体での協力体制(行事に向けての)などの雰囲気づくりも効果的だと思われます。

15. 校内研修について

- (1) 校内研修時間の活用、今年行った困り間の確認や教師間のつながり(OJT)も良かった。授業を見合うことができるような年もありかも？研修に参加できていない先生方もいると思うので、個人で行う研修選択も取り入れるか検討しては？

⇒ 次年度の校内研修の在り方について、これから検討する機会があるので、様々な意見を挙げてください。

16. 自立活動について

- (1) 自立活動の目標・指導シートを有効に活用した方がいいと思う。そのためには、実態把握から導き出される中心課題の見つけ方や指導目標や指導内容等、もっと丁寧に取り組んだ方がいいと思う。一人でやるのではなく、関わる職員みんなで考える時間を設ける等、自活の研修があってもいいと思う。
- (2) 自立活動の活動内容について、事例や活動内容の紹介や実践などの研修をしてほしい。例えばファシリティーボールを使った体のほぐしかただったり、音楽に合わせたマッサージの仕方だったり…。

⇒ 次年度の校内研修については、挙がってきた意見も含めて検討しながら研修計画に反映させていきましょう。

17. 校務分掌について

- (1) 負担の偏りや自分の分掌をやらない(やれない)職員への対応を県として何か対策をしてくれたらありがたい。

⇒ 本来、どの分掌であってもできることが理想です。負担の偏り等がないよう調整しつつ、サポート体制も整えていきたい。

19. 緊急・救急体制について

- (1) 人数上仕方のないこともありますが、痙攣や突発的な行動がある生徒に対して、手厚くなる分ほかの生徒の管理や授業が滞るもしくは手薄になっている現状が見られるかと思えます。

⇒ 学校の課題の1つだと考えています。緊急時には、授業外の職員もサポートできる協働体制を普段から意識して欲しい。

21. 教育環境について

- (1) 中学部と体育館の間の大きな木は、春になると虫がつく。撤去してほしい。スロープの横を通り運動公園に行くが、幅が狭く危険。中学部玄関から管理棟に向けての通路がデコボコで雨の後は水たまりができる。中学部棟廊下側からの陽ざしが強い。カーテンもしくはブラインドを付けてほしい。スロープの出入り口のドアを開放するためのストッパーを付けてほしい。
- (2) 中学部3階教室は廊下側の窓にカーテンやブラインドがなく、まぶしさや暑さの対策が必要となっている。
- (3) クーラーがたびたび故障する。

⇒ 予算の伴う環境整備については、毎月の安全点検での要求内容に組み込んでください。優先順位により前後しますが、環境整備は常時行っています。

22. 施設設備について

- (1) 一学期、二学期に何度か週明けの月曜日に教室、自立活動室のクーラーが止まることもあり、暑い中で扇風機等を活用しながら児童生徒の授業を進めることがあった。児童生徒の体調面も気になるので、できれば児童生徒が授業で活用する教室等のクーラーが止まらないように修理・修繕できれば助かります。
- (2) 高等部3階までのスロープが必要。教育センターと地震津波火災等の災害時建物をつなぐ通路建築可能か検討。(センター生や医ケア生の医療対応の不十分)
- (3) 老朽化に伴い、教室やトイレ等狭さなど目立つ。
- (4) 施設・設備の老朽化。たたみベッドなど古く、手作りのため規格がばらばら。危険です。着替え・排泄介助をするための、室内カーテンも足りず、つぎはぎ状態です。トイレも便器のグラつき、レバーが押しづらい。水もれなど細部に渡り問題あり。リフォームが必要。上階層は、朝夕、陽射しが差し込み、空調が効かない。近年の異常な温暖化や、電気代の向上など。窓ガラスに断熱シートを全面に貼るなど工夫が必要な時期ではないかと思う。また、クーラーも故障が多く、省エネタイプのものに入れ替えるなど大幅な見直しが検討すべき時期にきているのではないかと思う。
- (5) 老朽化等に伴う施設の痛みや機械の故障が毎年続いている。小学棟のトイレは改修、リフォームを検討しても良いのでは？効率の良い空調施設(教室管理型)に変更した方が、児童生徒の実態に合った教育環境が生み出せると思います。

- (6) シャワーがとても使いにくい(施設の老朽化)
- (7) 教室の手洗い場で車椅子の児童の足が入らず、上半身を伸ばしてきつい姿勢で洗っている。車椅子が安全に入り、簡易に手が洗えるように予算がつくなら取り替えてほしい。
- (8) エアコンの効きが悪い時がある。体育館にクーラーの設置をお願い致します。
- (9) 中学部は校舎が古く、教室も狭い。立て替えでのみ改善できないと思う。
- (10) トイレや手洗い場が児童の実態に合わない作りであり、年数も経っているため修復箇所もあり危険である。
- (11) 校内のわずかな窪みや、傾斜が危険。
- (12) 給食ワゴンを運ぶルートの道が斜めになっていて運搬がスムーズではない。また、傾斜の部分に水も溜まるので生徒の登下校時も迂回が必要となる。改善してほしい。
- (13) クーラーの故障により、暑い中授業を行ったり、度々教室を移動したりすることが多かったです。
⇒ 業者をお願いするような予算の伴う改修・修繕については、施設課への修繕要求を行っています。即時に対応できないことについては申し訳ないと思いますが、継続して要求することで少しずつ対応してもらっています。

23. PTO 活動について

- (1) 現保護者を中心に無理のない範囲で取り組んでほしい。元保護者が校内に入りすぎて要求が多い。現保護者の負担になっているところは改善した方がよい。
- (2) PTO 活動については、現 PTA 会長および役員を中心に、行事の企画・運営に前向きに取り組まれており、その努力はとも伝わってきます。一方で、一部の保護者の意見が強く反映される場面もあり、PTO 運営に苦慮している様子が見受けられます。PTO 運営においては、現役員が主体となって協議を重ねながら進めていくことが重要であり、それぞれが適切な距離感を保ちつつ関わるのが、円滑な運営や良好な人間関係につながると考えます。それぞれ学校をよくしたいという思いのもと行動されていると十分に承知しており、感謝しておりますが、一番大切なのは、円滑な人間関係です。どんなによい結果があっても、組織の人間関係がよくなっていかなければ本末転倒であると思います。今後も、互いの立場を尊重し合いながら、安心して協力できる PTO 活動が推進されるとよいと思う。
⇒ 様々な意見、ありがとうございます。今年度よりスタートした PTO、活動方法もまだまだ模索中の段階です。これまでの PTA とは違い、「できる時に、できる人が、できることをする」。そこに、学校サポーターも加えて組織を活性化させようという理念であると理解しています。意見にあるように、安心して協力できる PTO 活動を目指していけたらいいのかなと思います。

25. 職場環境について

- (1) 校長が元保護者の対応に時間をかけすぎている。校内の児童生徒の様子や職員の働く様子を見る余裕もない。児童生徒の名前もおぼえきれていない。
- (2) 「〇〇〇ハラスメント」的なことが気になり、相手を尊重しすぎ、言いたいこと言えずギクシャクすることがある。
⇒ 良好な人間関係づくりに努めてもらいたい。支持的な風土づくりを意識することで、学級、学部、学校全体の雰囲気が良い方向に進むと思います。全職員で意識してみましよう!

26. 働き方改革について

- (1) 不十分だとは思わないが、誰かを負担軽減するために、誰かが加重負担になっていることもあるのではないのでしょうか。
⇒ 業務の効率化については、お互いの業務を軽減することを目指すものだと思います。意見にあるような場合は、働き方改革になっておらず、違う目的があると思われます。分掌配置等で議論を進めるようお願いします。

27. 3軸6視点「同僚・管理者との良好な人間関係の構築ができています。」

- (1) 管理職の緊急時対応の判断など、危機管理意識の低さに信頼が置けない。
- (2) 管理者との連携は不十分と感じる。管理者の一方通行な感じがします。
⇒ コミュニケーション不足はありませんか?相談や悩みなどがありましたら、いつでも管理者へ声をおかけください。

28. 3軸6視点「個人の裁量(ゆとり)ある時間の確保ができています。」

(1) 時間が足りない程の仕事量がある。計画的に業務が遂行できることを望む。

⇒ 仕事、行事の精選や業務の効率化が必要かと思われる。具体的にたくさんの意見を出して欲しい。

30. 3軸6視点「より専門性を発揮するための研修や教材研究等が充実している。」

(1) 自立活動の研修や教材研究の充実が必要

⇒ 次年度の研修計画策定に向けて、様々な意見を挙げて欲しい。

【結果と考察】

1 評価対象は、教職員86名のうち回答は80名であり、回答率97%となっている。

2 「良い、やや良い」の9割が評価された項目を「良好な評価」として捉えた。

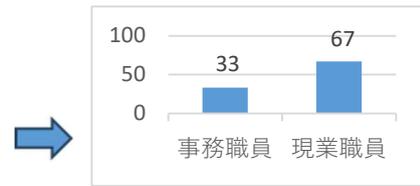
2 全31項目中(3軸6視点の項目を含む)、1項目について、改善が必要な評価(不十分、やや不十分(あまり当てはまらない、当てはまらない))として挙がっている(項目22の「施設・設備」について)。

項目22の「施設・設備」については、校舎(小学部棟)やプールの老朽化、空調設備等の課題があり、計画的に課題の改善を図る必要がある。施設・設備の修繕や改修に向け今後も継続して県へ要望を訴えていく。

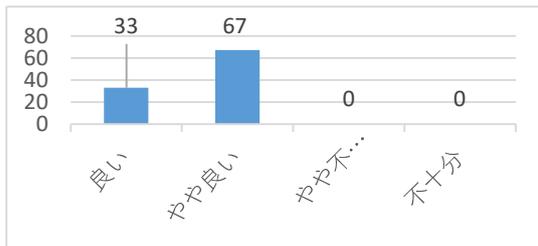
3 自由記述においては、様々な意見が寄せられている。学校として取り組む課題や県へ働きかける課題、学部や校務分掌で取り組む課題等に分けて検討し、年度内に取り組める課題については対応し改善していきたい。

※ 回答者(18名)の内訳より

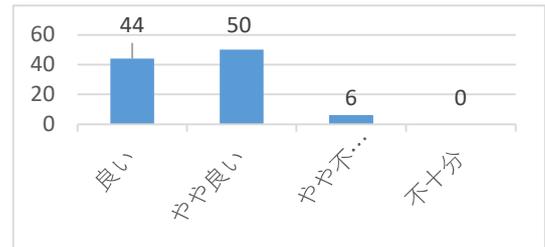
事務部と現業部の回答率を表示しています。



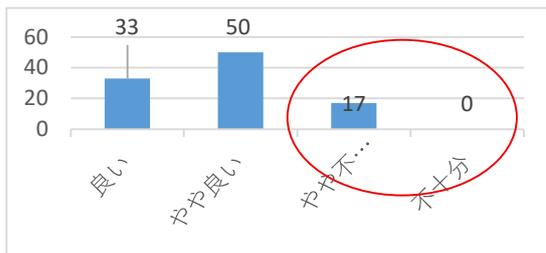
1 【教育目的意義】教育目標達成に向けて、職員が共通理解し意欲的に取り組んでいる。



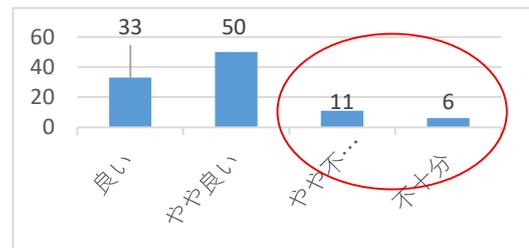
2 【職員会議】必要な月に職員会議に提案し、職員に伝える事ができている。



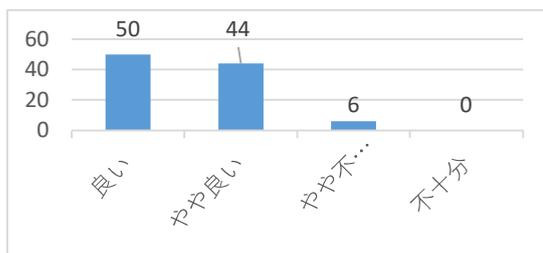
3 【危機管理体制の整備】職員の協働体制が推進され、効率よく実践されている。



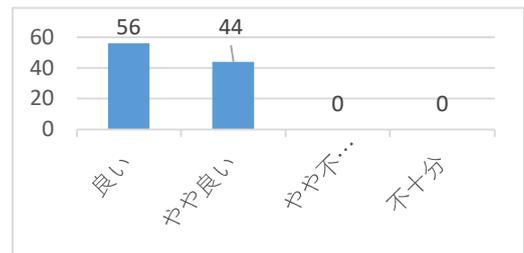
4 【施設設備管理・点検】校舎の安全点検がなされ、施設の維持・管理に努めている。



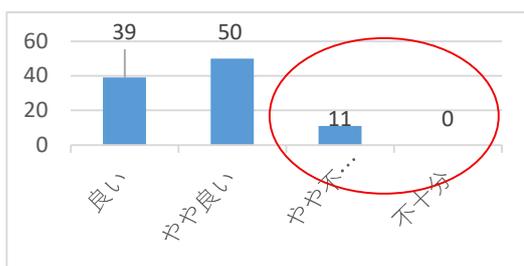
5 【環境美化】全職員協力のもと、計画的な清掃活動及び美化活動が適切に実践されている。



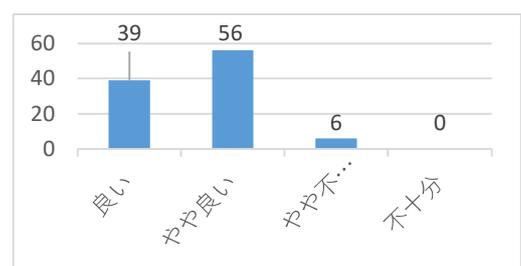
6 【学校行事】全職員共通理解のもと、学校行事の推進と充実が図れている。



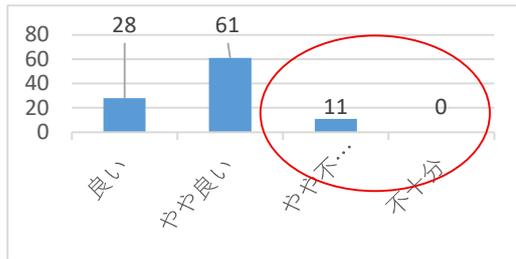
7 【業務の処理】業務の処理の正確性、計画性は図られている。



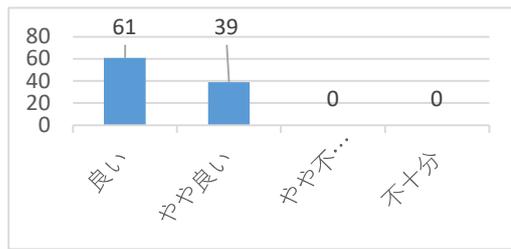
8 【創意工夫】業務を遂行する中で創意工夫は図られている。



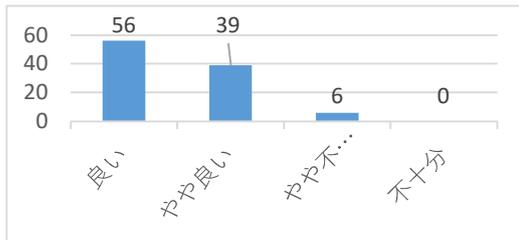
9 【業務遂行上の知識】仕事を進める上で必要な知識や情報の習得はされている。



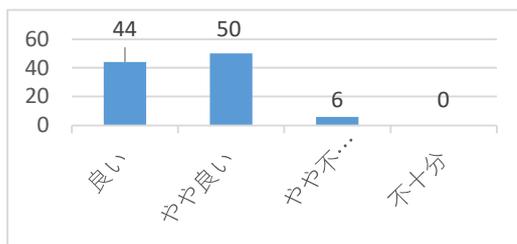
11 【協働体制】事務現業部全体で協力体制がとれている。



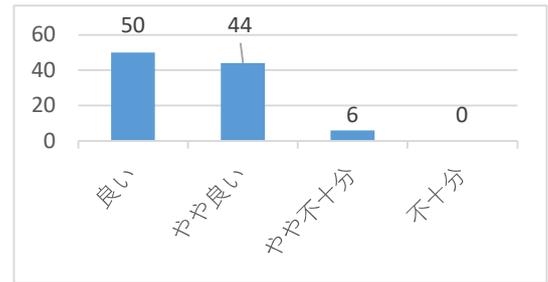
13 【職場環境】勤務上の課題や悩み等について、職員が相談し合える雰囲気の職場になっている。



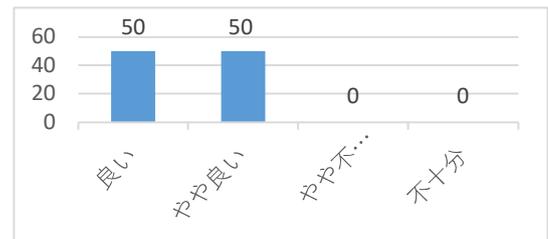
15 【働き方改革】職員一人一人が業務の効率化に努めており、負担軽減を意識した働き方改革に取り組んでいる。



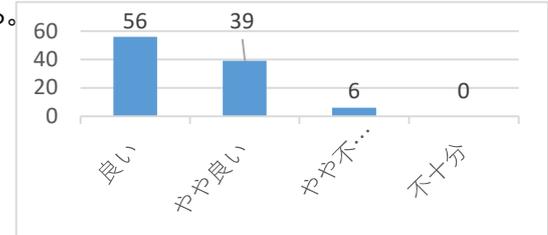
10 【接客】来客、電話対応は適切に行っている。



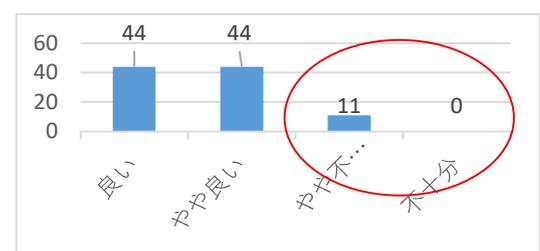
12 【責任感】職員は自らの事務分掌に責任を持って取り組んでいる。



14 【校内 LAN の活用について】個人情報やセキュリティに留意して、情報の共有化に取り組んでいる。



16 【人権意識】人権意識の高揚を図るため、組織的な活動に取り組み、職員の日頃の言動について、人権に配慮した対応となっている。



17 自由記述

- (1) 全体的に設備の不備が目立つ
- (2) 事務現業に関わりのない項目がほとんどでアンケートの意味がわからなかった。

【課題、要望、改善策等】

項目2 職員会議について

- (1) そのような場がない

項目3 危機管理体制の整備について

- (1) 知らない人の出入りがある
- (2) 管理者が積極的でない。見回り等行っておらず安全管理が非常に危険。

項目4 施設設備管理・点検について

- (1) カビなど多い
- (2) クーラーの故障が多い
- (3) 校舎が老朽化しているが特にエアコンが毎年故障し児童が暑がっているのに特に前もって修理等行っておらず不備が目立つ。

項目5 環境美化について

- (1) 全体的に壁などの汚れ気になる。

項目7 業務の処理について

- (1) 直前になってこういうことができるかという質問が多く、慌てて回答や対応を探すことが多いように感じる。授業計画や行事計画などはあらかじめ決まっているため、直前ではなく余裕をもって確認するようにしてほしい。
- (2) 教職員以外の業務について理解がなく、こちらの業務がどのくらい、どのようにあるのか理解されていないとおもう。人数なども含めて。

項目13 職場環境について

- (1) 管理者に相談事をしても受け流される

項目15 働き方改革について

- (1) 仕事量がどのくらいあるか、人数がその分足りているかなど理解されていない。

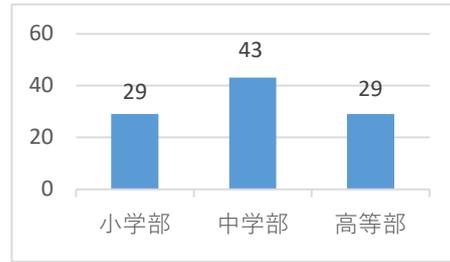
項目16 人権意識について

- (1) 生徒に小学部児童に対する言葉遣いが乱暴な場面があり気になる。
- (2) 生徒に対する言葉遣いが荒い職員がいる。

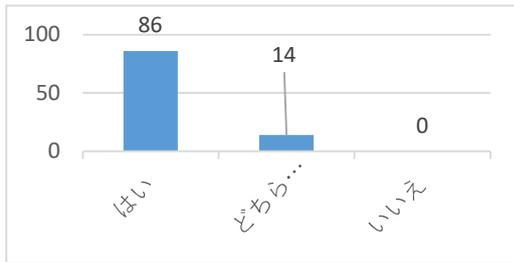
【結果と考察】

- 1 評価対象は、事務・現業職員（看護師含む）22名のうち回答は18名であり、回答率82%となっている。
- 2 全16項目中、11項目において、良好な評価（良い、やや良い）が9割以上であり、概ね良好な結果であった。
- 3 全16項目中、5項目において、改善が必要な評価（やや不十分）があり、特に項目3【危機管理】や7【業務の処理】、9【業務遂行上の知識】、16【人権意識】においては、協力体制の構築を図るために日頃からお互いがコミュニケーションを多くとり、お互いが仕事をカバーできる環境を整えていく必要があると考える。また、4【施設設備管理・点検】においては、県への要望を継続して行っていく必要があると考えている。
- 4 今年度より学校看護師も評価対象者に加えたが、直接業務と関係の無い質問項目も含まれており、返答に困ったとの意見もあった。評価項目の見直しや評価方法の工夫も今後の課題である。

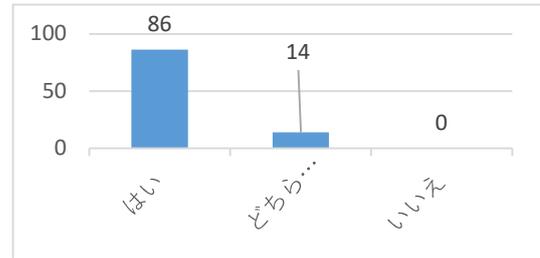
※ 回答者(22名)の内訳より
各学部の回答率を表示しています。



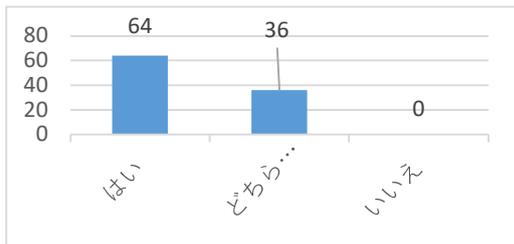
1 学校は、毎日楽しいですか？



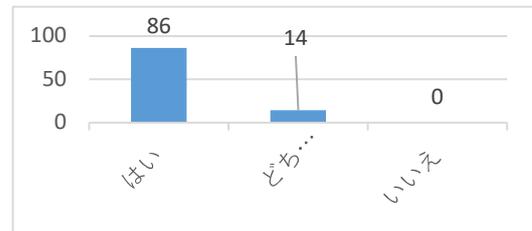
2 先生は、あなたの話をよく聞いてくれますか？



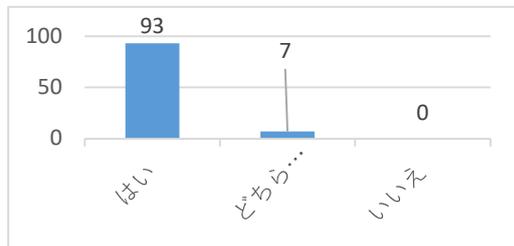
3 授業は、わかりやすいですか？



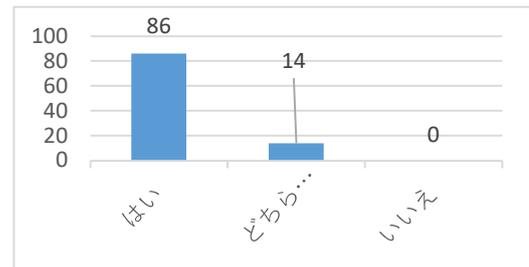
4 先生は、授業でわからないところを丁寧に教えてくれますか？



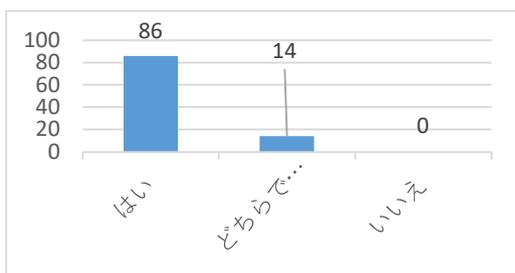
5 担任の先生だけでなく、まわりの色々な先生にお話ができますか？



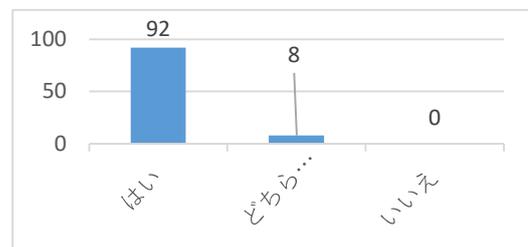
6 先生は、あなたやお友達がいじめられたら、皆さんを守ってくれますか？



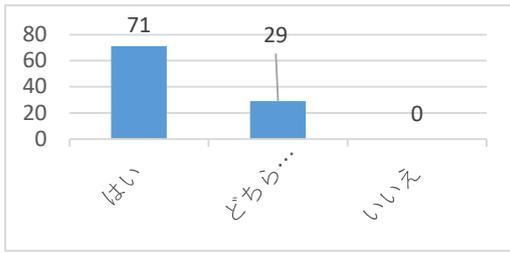
7 PAWASE 祭は楽しいですか？



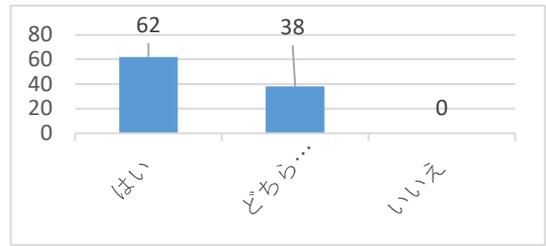
8 宿泊学習や修学旅行など、校外学習は楽しいですか？



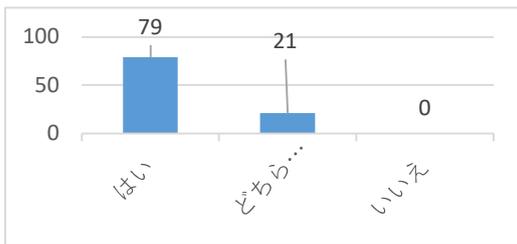
9 児童会・生徒会活動に楽しく参加していますか？



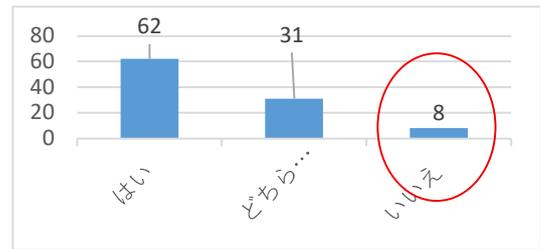
10 授業で自分の考えをまとめたり、発表したりする場面がありますか？



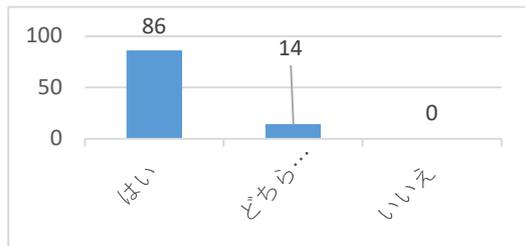
11 授業の中で、パソコンや iPad 等を使っていますか？



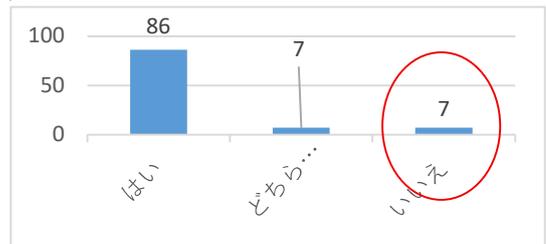
12 先生は、命の大切さや人権について教えてくれますか？



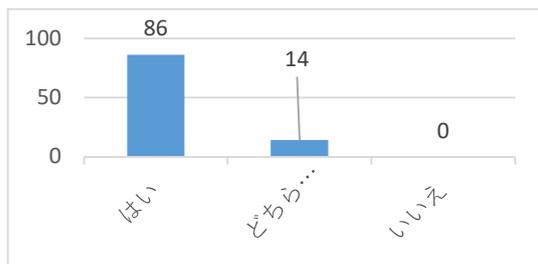
13 先生は、社会のルールについて教えてくれますか？



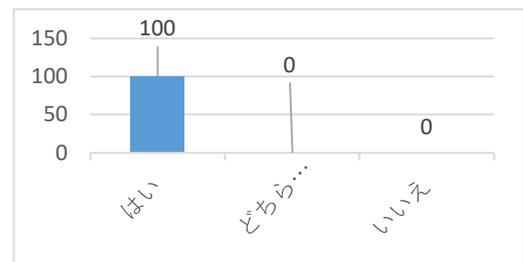
14 教室やトイレなどが掃除されていて、きれいな学校ですか？



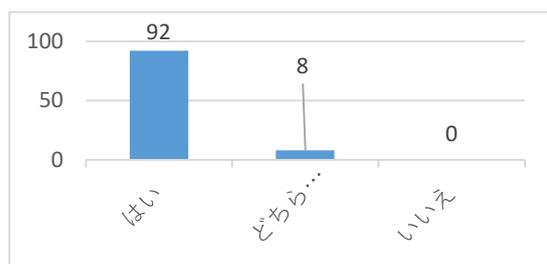
15 他の学校と、交流（オンラインを含めて）することがありますか？



16 先生は、火事や地震、津波の時、どうすれば良いか教えてくれますか？



17 先生は、将来の夢や目標生活や仕事について聞いてくれますか？



18 自由記述

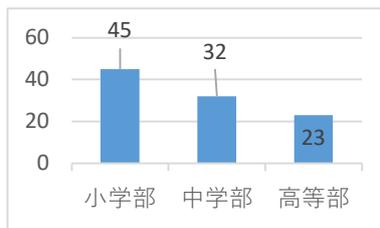
- (1) 学校の体育館にエアコンがほしいです。帰るときにいつもエレベーターが混雑するのでエレベーターを増やしてほしいです。
- (2) 大きなペットがいたらいいな(ゴールデンレトリバー)
- (3) トイレが赤いのと、カーテンボロボロをかえてほしい
- (4) 新年度もTボール同好会をやりたいです。
- (5) はやげこう
- (6) そうじがあったほうがよい

【結果と考察】

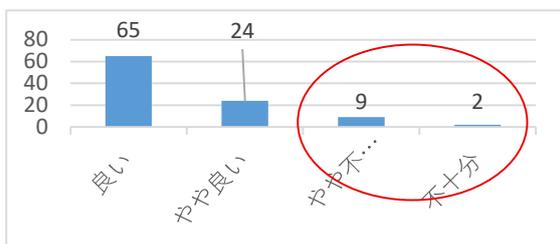
- 1 評価対象は、教育課程のⅠ課程とⅡA、ⅡB課程の児童生徒のうち各学部で対象を決めて回答してもらった。回答は22名であり、回答率100%と考える。
- 2 全17項目中、12項目において、良好な評価(はい)が86%以上であり、概ね良好な結果であった。
- 3 改善が必要な評価(いいえ)のあった2項目については、少数ではあるが児童生徒の声として把握する必要がある。特に項目12【先生は、命の大切さや人権について教えてくださいか?】においては、人権意識の醸成についてまだまだ足りない部分があるとの認識で対応していきたい。また、項目14【教室やトイレなどが掃除されていて、きれいな学校ですか】においては、学校の老朽化なども要因のひとつであると考えられるが、きれいな学校になるよう努めていきたい。
- 4 自由記述においても児童生徒の声をひろい、教育活動の充実に努め楽しい学校作りを推進したい。

※ 回答者(47名)の内訳より

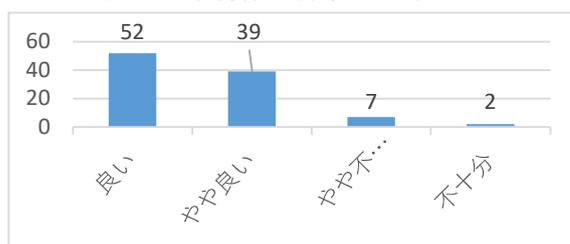
各学部の回答率を表示しています。



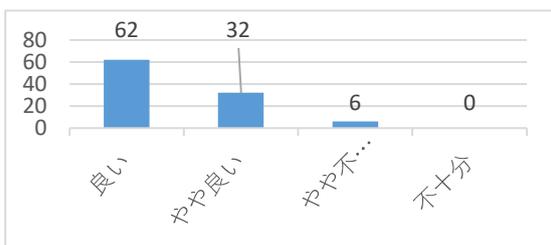
1 本校の教育目標は、児童生徒の実態や保護者の願いを踏まえたものになっている。



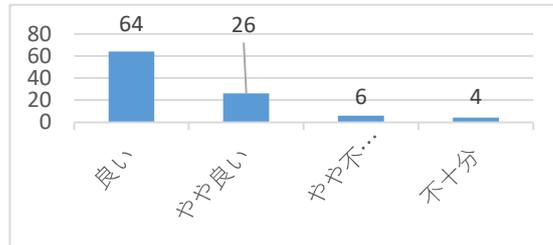
2 本校は、学校の教育方針や教育活動などについて、PTO 総会や保護者面談等で説明している。



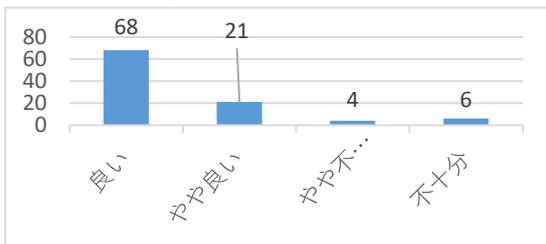
3 本校では、学校の教育活動全体を通じて、道徳教育を行うように努めている。



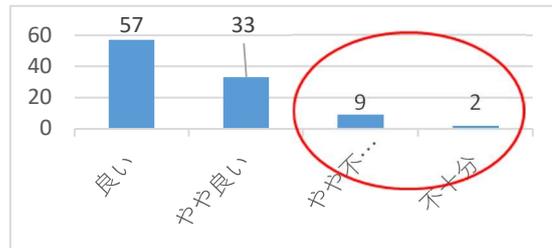
4 本校は、子どもの障害の状態や発達の程度等を把握している。



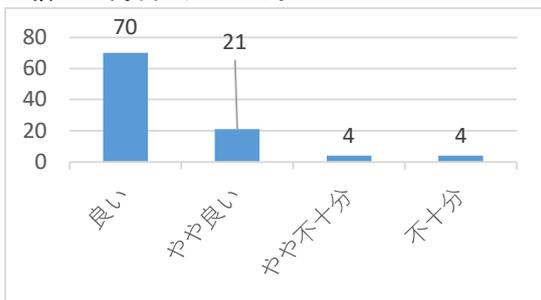
5 本校は、一人一人の子どもたちに応じた指導の工夫がされている。



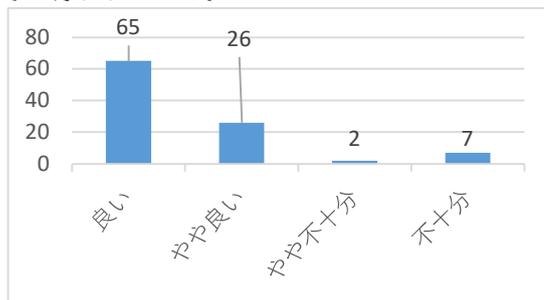
6 本校は、授業の中でコンピュータ等の情報機器や支援機器が活用されている。



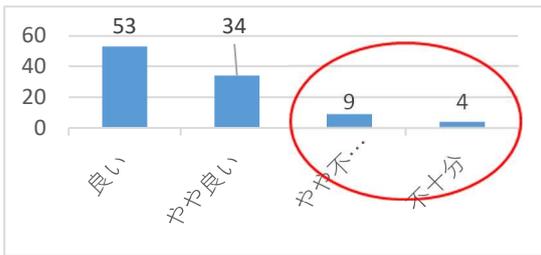
7 本校では、個別の教育支援計画に本人や保護者の願いが反映されている。



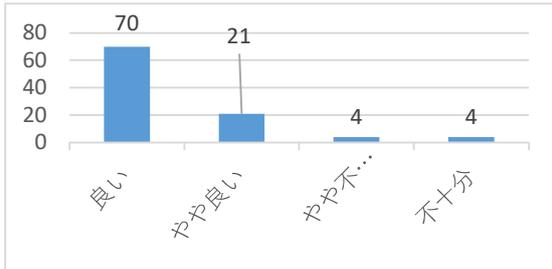
8 本校は、子どもの将来に向け進路指導が計画的に行われている。



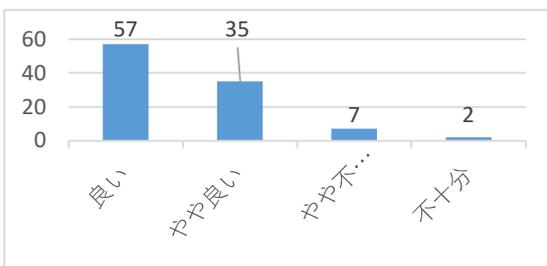
9 本校は、教育に係る様々な情報が提供されている。



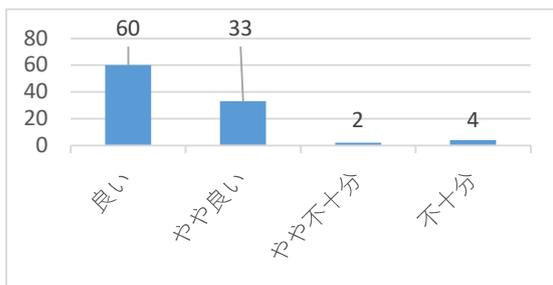
11 本校は、子どもの学習状況を適切に評価している。



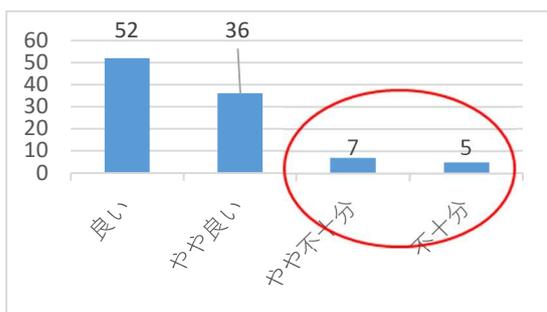
13 本校は、社会体験活動など、社会自立に向けた指導を行っている。



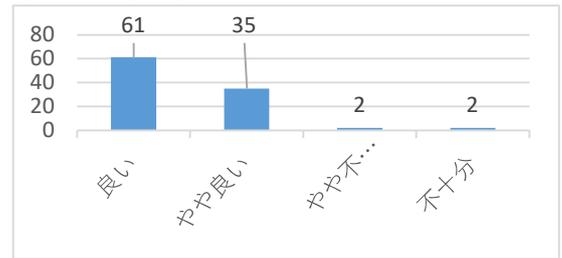
15 本校は、交流及び共同学習が行われている。



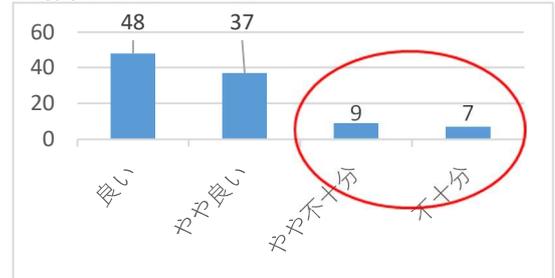
17 本校は、保護者と教員が連携したPTO活動が充実している。



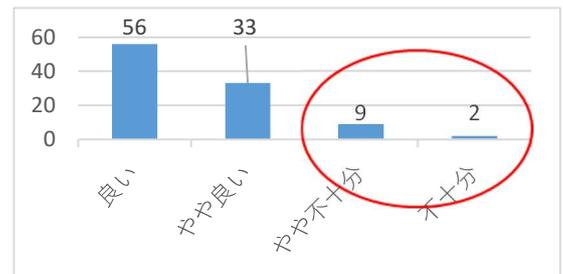
10 本校は、子どもの指導や心身の健康について適切な相談が行われている。



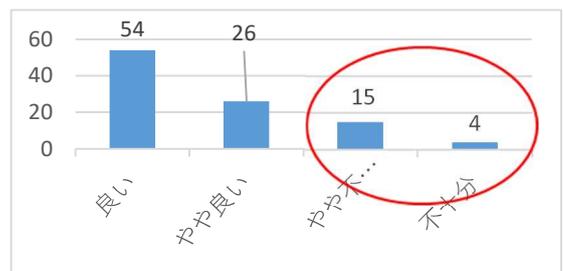
12 本校は、子どものために医療、福祉等関係機関との連携がなされている。



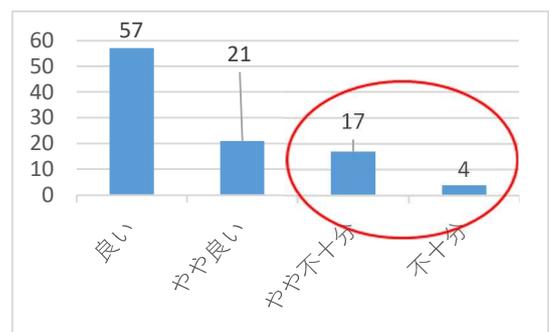
14 本校は、人権を学ぶ活動に取り組んでいる。



16 本校は、子どもたちの安心・安全な学習環境整備がなされている。



18 本校は、地域に開かれた特別支援学校である。



19 学校をさらによくするためのご意見等(自由記述)

- (1) いつも先生方には、丁寧に親身になって子どもの成長と一緒に向き合ってください感謝しております。
- (2) 学校は集団活動ではあるが、中でも個別性のある対応をより一層行って欲しい。安全や体力的な面も考慮してとの事と思うが歩行可能な生徒の車椅子の使用頻度にやや疑問あり。特支に通学する女の子に男性の教師を担任とするのは生徒にとっても教師にとってもデメリットが多いと思います。
- (3) *校舎の老朽化・劣化がすすんで暗くてじとじとした印象・日当たり悪い箇所も多い・廊下も狭く車椅子同士のすれ違い時も狭い。(県立みらい支援学校の校内の創りがとても良かったです。参考にしてほしい)・トイレも狭くて暗いのでトイレ訓練がやりにくい。これからの時代は職員が付き添って見守れる訓練しやすい構造、環境が良い・車椅子の子がトイレ訓練に切り替える時期のトレーニングしやすい体勢を補助できる構造にしてほしい・エレベーターが少ない 混雑時なかなか乗れないし時間がかかる・プール場の劣化で衛生面の悪さで健康上良くない・シャワー場マットの黒カビ汚れ・シャワーカーテンの黒カビ汚れ(何年前かなりひどかった…今は取り替えしたのかどういいう状態かは分からない)・着替え場もきちんと設置されておらず衣服の脱ぎ着も雑な扱いだった(こういう他者が見ていない個所でのデリケートな部分での配慮が足りないなと感じました。授業参観の際プール見学時)こども達は話せなかったり自分で動けなかったりするぶん敏感に感じると思います。少しでも快適に学校で過ごせたらいいなと保護者として感じた事をこれからの子供達の為にぜひ参考までに。
- (4) いつもありがとうございます
- (5) 子どもたちが使用するトイレを修繕してほしいと思いました。
- (6) 医療的ケア児も普通に親同伴なしで来れるよう学校側も協力してほしいです。・各教室に看護師配置して欲しいです、吸引頻回な子や痙攣頻回な子などは日常的なケアできないと思うので学校へ行かせるのは難しいと思います。生きていくために必要なケアなので、協力してほしいです。・入学前の学校説明に医療側も同伴して欲しいです。医療的な事の事前情報が何も無いまま、通学にするか、訪問にするかの選択に思えました。きちんと納得した上で選ばせて欲しいです。

【結果と考察】

- 1 評価対象は、保護者84名のうち回答は47名であり、回答率56%となっている。
- 2 評価項目「良い、やや良い」が9割、評価された項目を「良好な評価」とした。
- 3 全18項目中、10項目については、良好な評価(良い、やや良い)であった。
- 4 全18項目中、8項目については、改善が必要な評価(不十分、やや不十分)であった。
 - (1) 項目1「教育目標は児童生徒の実態や保護者の願いを踏まえたものになっているか」については、アンケート調査(学校評価等)や保護者面談で保護者のニーズや意見(現状の課題や改善点)の把握に努めていきたい。
 - (2) 項目6の「情報機器の活用」については、引き続き児童生徒個々の実態に応じたICT教育の充実を推進していくために、iPadにおけるアプリの活用や視線入力等も活用しながらICT教育の充実を図ってきたい。
 - (3) 項目9の「本校は、教育に係る様々な情報が提供されている」については、スクリーン等を活用し、様々な情報が即時に共有できるよう整備を進めていきたい。

- (4) 項目12の「子どものための医療・福祉等関係機関との連携」については、月1回の沖縄中部療育医療センターとの医療・教育連携会議の開催や支援部を中心とする福祉機関との連携を図っている所である。しかし、連携の未だ足りない部分においては、保護者や子ども達のニーズの声を個人面談等で拾い、迅速かつ適切な対応を図っていききたい。
- (5) 項目14の「人権を学ぶ活動」については、特別活動や道徳の授業の中で、「子どもの権利条約」をはじめ、人権に関する知識や価値観の指導の充実をさらに図っていききたい。また、いじめ防止委員会でのスクールカウンセラーからの人権に関する助言等をもとに、生徒指導部を中心とした人権における校内研修の実施等も充実していききたい。
- (6) 項目16の「子どもたちの安心・安全な学習環境整備がなされている。」については、施設の老朽化等により、施設設備面での改善・改修を望む声が多くきこえてくる。県にも修繕要求を継続して行っていききたい。
- (7) 項目17の「保護者と教員が連携した PTO 活動が充実している。」については、PTO が今年度の立ち上げであり、活動方法についても現在模索中である。安心して協力できる PTO 活動を目指して、活動の様子など情報発信を丁寧に行っていききたい。
- (8) 項目18の「地域に開かれた学校」については、保護者や地域への情報発信を強化しながら、さらに連携を深める手立てを検討していききたい。
- 5 自由記述においては、児童生徒の実態に合わせた配慮の方法をしっかりと考えて欲しいとの要望や施設設備の老朽化への対応、学校生活を快適に行うための工夫などを求める意見があった。それらは、学校での教育活動全般に係る課題であると捉えている。

児童生徒の実態把握を丁寧に行うことは必須であり、個別の教育的ニーズに対応した教育を施すのが特別支援学校であると考えている。また、施設設備に関する修繕要求については、予算要求を行っていても、即時に対応できるものとは限らないため長期的なスパンで取り組む必要がある。

更に、医療的ケア児に対する協力についての要望に関しては、現時点で行える協力体制は整えているが、全ての要望について実施が可能とはなっていない。その都度、状況を確認しながら、最善の方法を検討していききたいと考えている。また、通学生か訪問生かの決定については、基本的に県就学支援委員会による就学通知を根拠としている。説明が足りなかったかもしれませんが、気になる事などありましたら、学校へ問い合わせてください。できる限り丁寧に回答していこうと考えています。

保護者からの様々な意見を真摯に受け止め、改善が必要な部分は改善に向けて取り組みます。合わせて、保護者からの良好な評価の声を励みに、引き続き学校と保護者との連携強化を図っていききたいと考えています。

令和 7 年度学校評価まとめ【学校評議員】

①【本校の教育目標】学校は教育方針をわかりやすく伝えている。

| 回答 | 感想・意見 |
|------|---|
| やや良い | ・学校案内のリーフレットなどにわかりやすく示されていると思います。今度ホームページの更なる改良や活用などに力を入れていただけると外部からさらによりわかりやすくなるのではないかと思います。 |

②【本校の教育実践】学校は教育課題について適切に取り組んでいる。

| 回答 | 感想・意見 |
|----|--|
| 良い | ・児童生徒それぞれの実態に応じた教育課題を明確にしており、それに対して取り組んでいると感じます。 |

③【本校の健康・安全】学校は健康・安全教育に取り組んでいる。

| 回答 | 感想・意見 |
|----|--|
| 良い | ・本校の最も配慮している点だと感じます。日々児童生徒の健康管理、安全管理は大変だと思いますが、事前の準備や工夫はとても素晴らしいと思います。 |

④【本校の教育環境】学校は校舎内外の教育環境の整備に努めている。

| 回答 | 感想・意見 |
|----|--|
| 良い | ・いつ学校に伺ってもきちんと整理整頓がなされ、中庭の整備なども積極に行い児童生徒により良い教育環境を提供していると感じます。 |

⑤【本校の進路指導】学校は適切な進路指導に取り組んでいる。

| 回答 | 感想・意見 |
|------|---|
| やや良い | ・進路情報「路」を拝読しましたが、小中高等部それぞれで進路学習が行われており、とても良いと感じました。今後もぜひ積極的な外部発信を行い、学校の状況を地域と共有できるようになると良いと思いました。 |

⑥【本校の地域との連携】学校は地域と連携し、特別支援教育のセンター的役割を果たしている。

| 回答 | 感想・意見 |
|----|---|
| 良い | ・外部からの相談もあり、本校が開かれた学校であることが伺える。また、中頭地区小中学校肢体不自由児童生徒の情報交換会や沖縄市、うるま市特別支援学級担任等への研修会など、特別支援教育のセンター的役割を果たしており、今後も地域から必要とされる学校への期待が高まる。 |

【結果と考察】

第1回及び第2回学校評議員会では、各学部の取組や学校保健、PTA、支援部や学校評価アンケート速報も踏まえ、回答をいただいた。概ね良好な回答をいただいたが、感想・意見に示された課題や助言については、学校全体で共有し本校の教育活動の充実に向けてつなげていきたい。